

# 第1回 金沢方式あり方検討懇話会

令和6年7月22日（月）

# 1. はじめに（経緯、歴史等）

# 金沢方式とは

昭和27年、新たな公民館の設置に際して、  
多少の地元負担を伴っても  
校下ごとに公民館が欲しいとの  
地域住民の強い要望を受けて、  
地元が一定割合を負担することによって、  
当初計画より30館多い公民館を  
開設したことに始まった、  
児童館、消防団でも採用されている、  
**地域が一定の負担をしながら自主的運営を行う方式**

# 施設数の比較（参考）

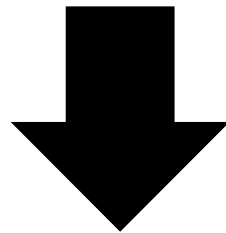
## いずれも中核市平均を上回る数を保有

施設区分	施設数・分団数	
	金沢市	中核市平均（※）
公民館	61	31
児童館	32	10
消防分団	49	36

※公民館、児童館は「中核市市長会 都市要覧」より（R5）  
消防分団は金沢市消防局の独自調査より（H28）

## 経緯（概要）

金沢 … 町内自治、善隣館活動など  
**相互扶助の精神による**  
**自治活動**が古くから活発



戦災を免れたこともあり、  
この流れは戦後にも継承

# 経緯（概要）

校下・校区を  
単位とした地域の**連帯意識**の高まり

「多少の地元負担を伴っても  
各校下に公民館が欲しい」  
（昭和27年）

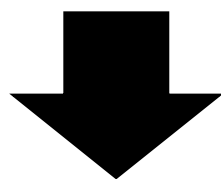
## 具体的な活動（昭和30年代頃）

- ・ 青年教育（若者の職業人としての技能習得など）
- ・ 婦人教育（女性の教養の向上など）
- ・ 子ども会活動支援（子ども活動の発表の場）
- ・ 視聴覚教育活動（紙芝居や映写機…テレビのない時代の娯楽）
- ・ 社会体育（バレーボールによるスポーツ振興など）

→年齢・性別を問わず、地域のあらゆる世代の居場所

- ・ 昭和30年代頃まで、  
小学校、善隣館、消防小屋の一部を利用

※主に運営費を地元で負担



- ・ 昭和40年代頃から、  
施設の老朽化により  
独立した新たな館の建設機運の高まり

※運営費に加え、建設費も地元で負担



# (参考) 公民館における市と地元の負担比率の推移

## 運営費

	市	地元
昭和27年～	47/100	53/100
昭和46年～	55/100	45/100
昭和48年～	67/100	33/100
昭和53年～現在	75/100	25/100

## 建設費

	市	地元
昭和40年代頃～	75/100 (うち国県25/100)	25/100
平成7年～現在	75/100	25/100

※平成7年から国庫補助要件が変更となり、小規模な公民館は対象外

# 現行の制度一覧（令和6年4月時点）

施設等		区分	市負担割合	地元負担割合
公民館	新築・改築	建物改修	<b>75/100</b> 区域内の世帯数+事業所数 500~1,000世帯未満 80/100 250~500世帯未満 85/100 250世帯未満 90/100	<b>25/100</b> 区域内の世帯数+事業所数 500~1,000世帯未満 20/100 250~500世帯未満 15/100 250世帯未満 10/100
		備品整備		
		運営費	<b>75/100</b> 別途、1,000世帯を下回る館に人件費助成	<b>25/100</b>
	新築・改築	<b>75/100</b> 区域内の世帯数+事業所数 500~1,000世帯未満 80/100 250~500世帯未満 85/100 250世帯未満 90/100	<b>25/100</b> 区域内の世帯数+事業所数 500~1,000世帯未満 20/100 250~500世帯未満 15/100 250世帯未満 10/100	
児童館	建物改修			
	備品整備	100%	0%	
	運営費	100%	0%	
	新築・改築	<b>75/100</b> 区域内の世帯数+事業所数 500~1,000世帯未満 80/100 250~500世帯未満 85/100 250世帯未満 90/100	<b>25/100</b> 区域内の世帯数+事業所数 500~1,000世帯未満 20/100 250~500世帯未満 15/100 250世帯未満 10/100	
消防分団	器具置場 警鐘台	新築・改築	<b>75/100</b> 区域内の世帯数+事業所数 500~1,000世帯未満 80/100 250~500世帯未満 85/100 250世帯未満 90/100	<b>25/100</b> 区域内の世帯数+事業所数 500~1,000世帯未満 20/100 250~500世帯未満 15/100 250世帯未満 10/100
		建物改修		
	ポンプ車 搬送車	新規・更新		
		備品整備	100%	0%
		運営費	100%	0%

## 2. 地域を取り巻く環境の変化

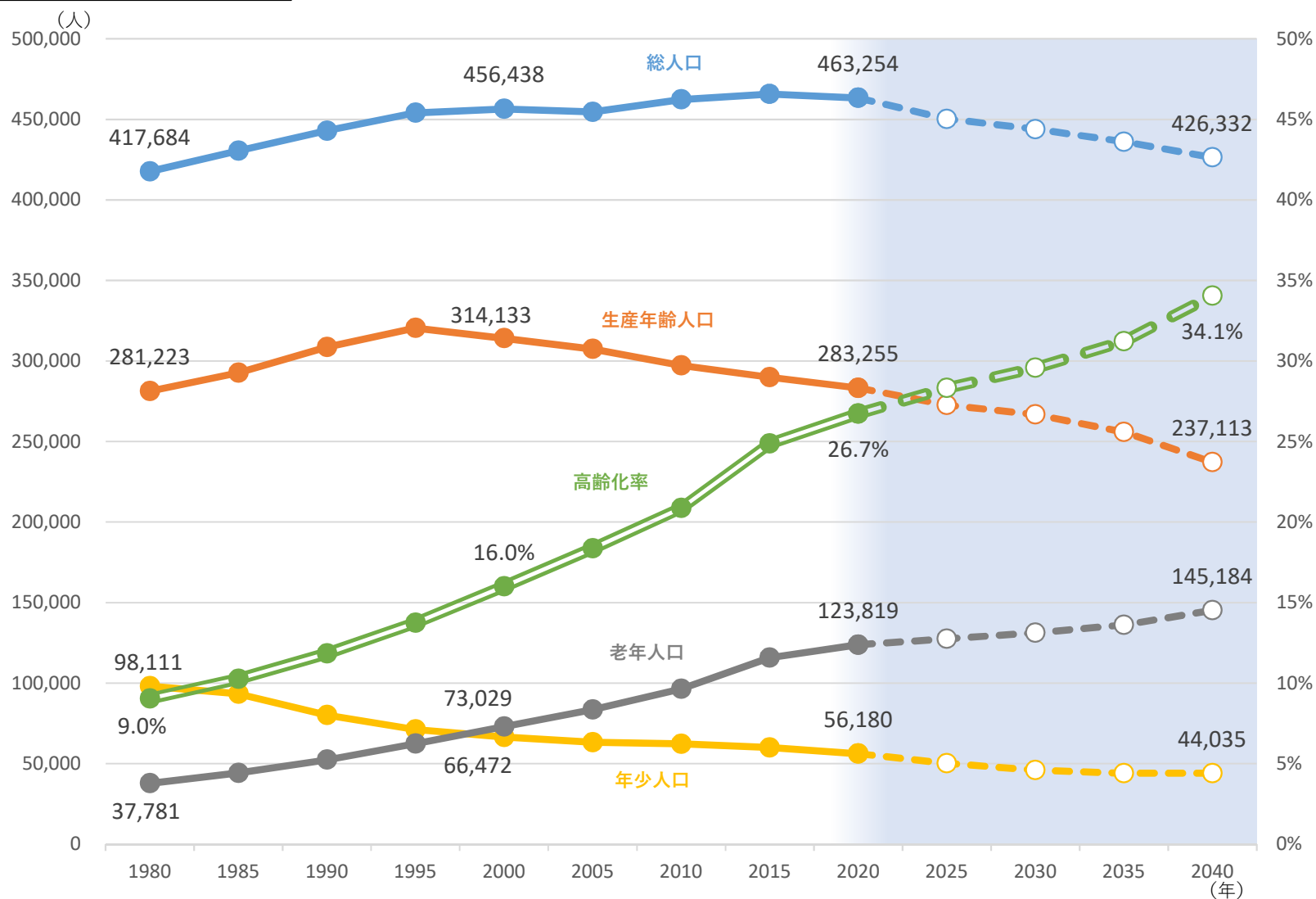
# 地域を取り巻く環境の変化

- ① 人口減少、少子高齢化の進展による  
地域活力の低下
- ② デジタル技術の進展による  
価値観や生活様式の変化
- ③ 連帯意識の希薄化による  
町会加入率の減少

など

# ①人口減少、少子高齢化の進展について

## 金沢市 人口等の推移

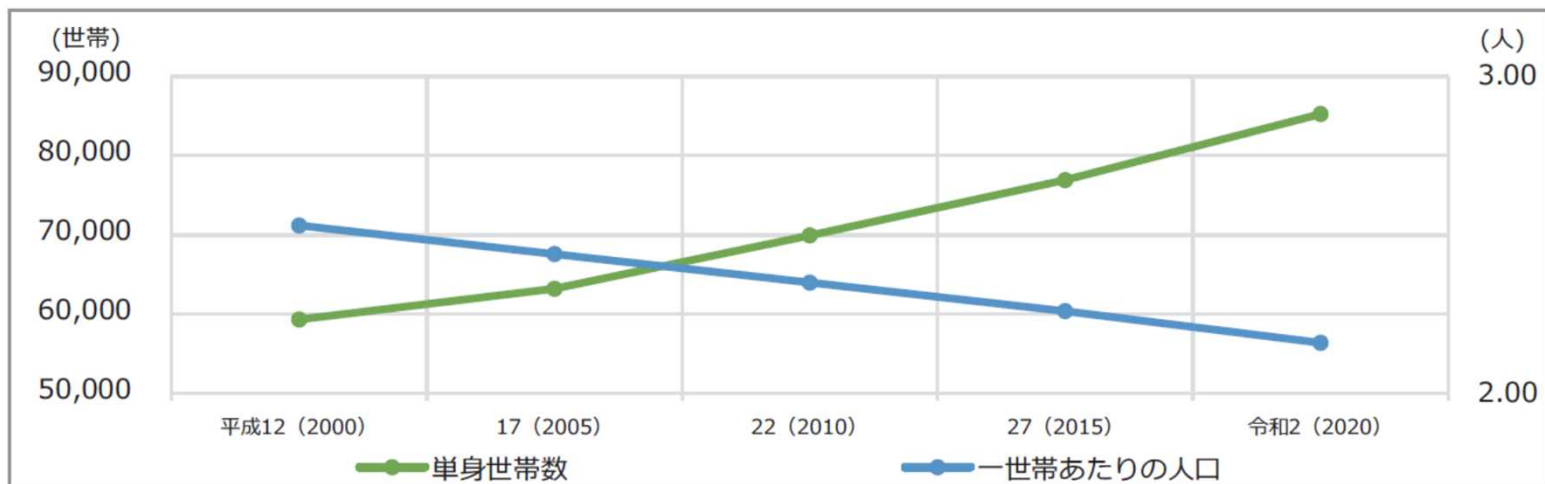


出典：2020年までは国勢調査、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

# ② 価値観や生活様式の変化について

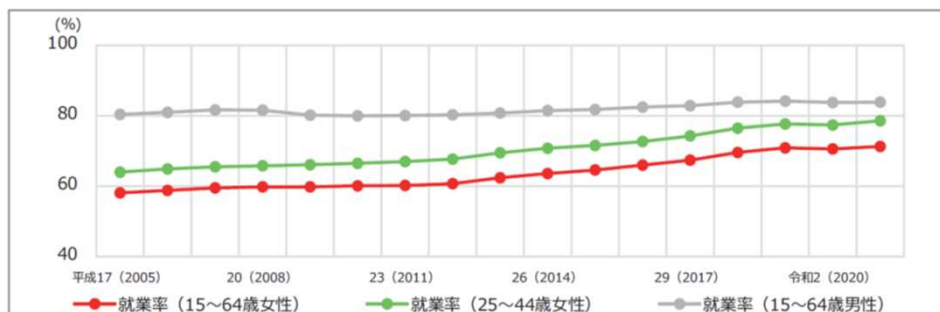
## 単身世帯数や女性・高齢者雇用の増加

金沢市における単身世帯数と一世帯あたりの人口の推移



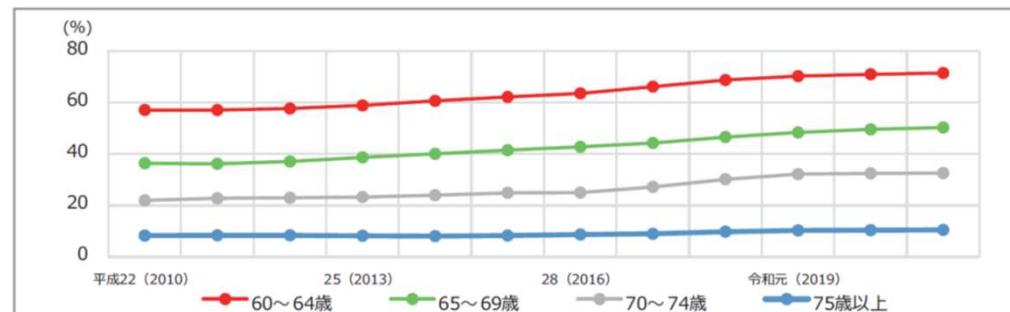
出典：令和2年国勢調査結果より作成

【参考1】女性就業率の推移（全国）



出典：令和4年版 男女共同参画白書

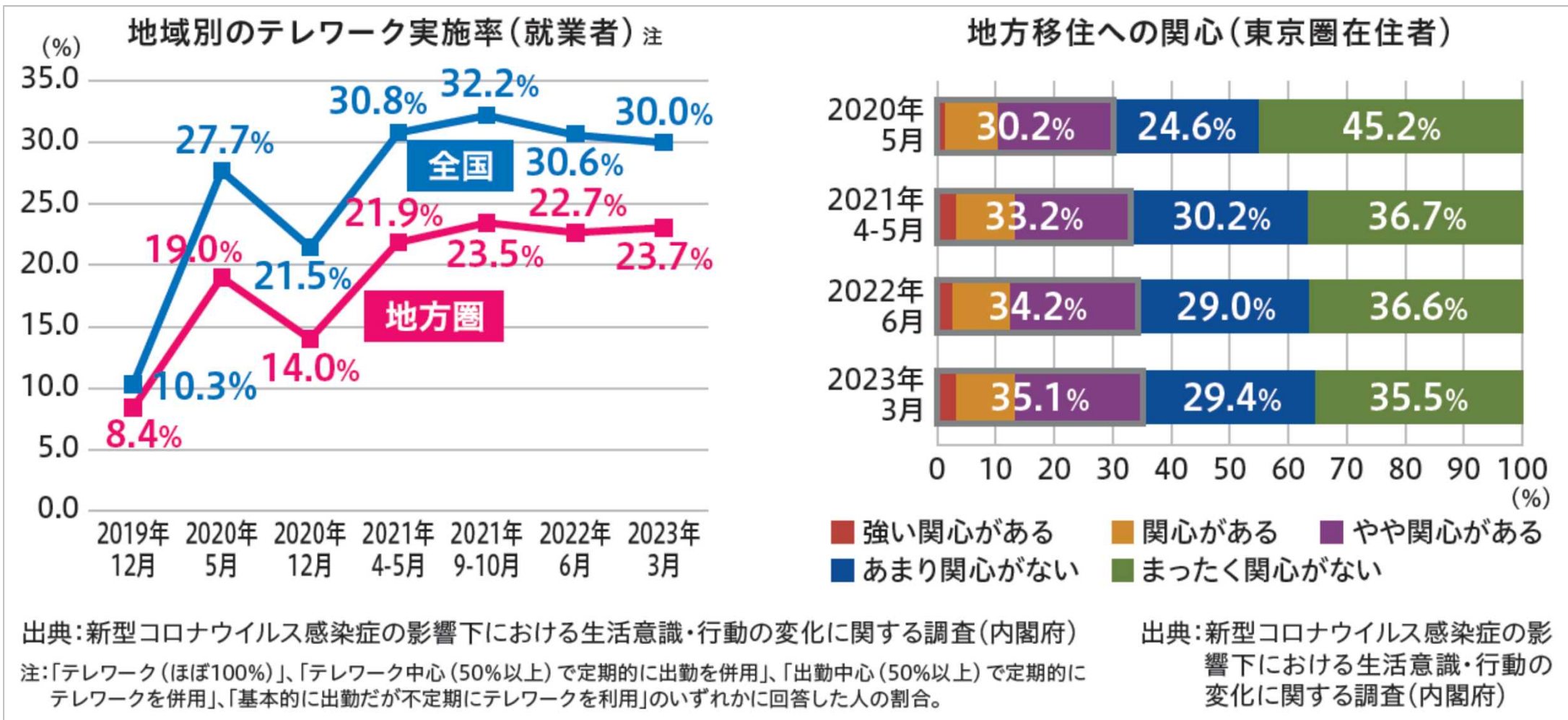
【参考2】高齢者就業率の推移（全国）



出典：令和4年版 高齢者白書

## ② 価値観や生活様式の変化について

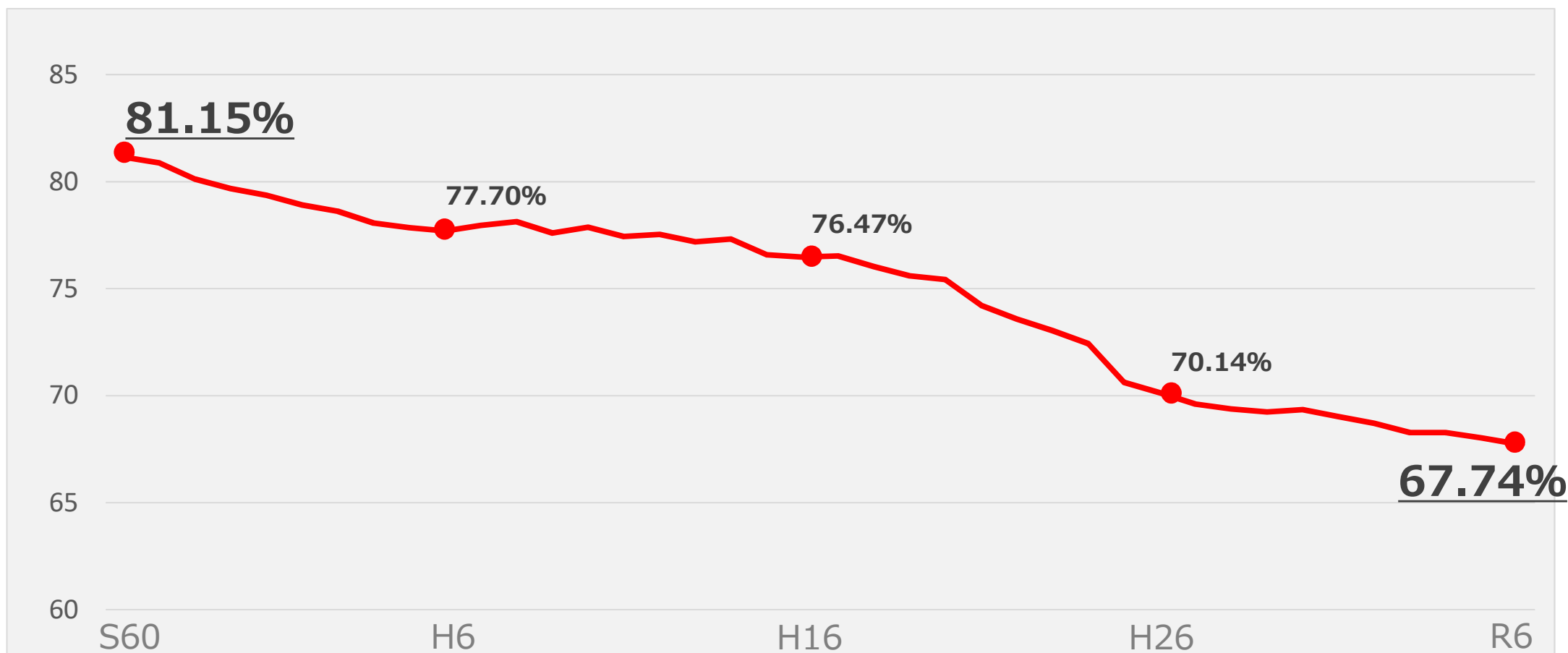
### 新型コロナウイルス感染症による変化



### ③ 町会加入率の減少について

## 本市の町会加入率の推移

昭和60年度 → 令和6年度 (約14ポイントの減)



出典：金沢市地域コミュニティ活性化推進計画2023より作成



# 第1回会議の論点

## 地域における課題について

- (例)
- ・ 担い手不足
  - ・ 地域活動  
(公民館、児童館、消防分団)
  - ・ 施設の老朽化
  - ・ 物価、資材高騰

など

# 令和6年度の主なスケジュール

## 【スケジュール（案）】

時期	内容
7月22日	<b>第1回検討懇話会</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 概要説明</li><li>・ 地域における課題に関する意見交換</li></ul>
8月頃	<b>第2回検討懇話会</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 見直しの方向性 など</li></ul>
10～11月頃	<b>第3回検討懇話会</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ とりまとめ</li></ul>